

SWD-DA20 の活用(8)

—Bulk Pet 伝送(8)—

1. はじめに

前報(7)まででおおよその Bulk Pet 伝送の活用の方法が分かりましたので、さらなる音質向上を期待して Windows10 機にドライバーをインストールして Bulk Pet 伝送を実施してみることにしました。

2. SWD-DA20 の試聴方法

先の Windows8.1 機と同様に Windows10 機にドライバーをインストールします。

SWD-DA20 のファームウェアは更新済で、W10 機には TASCAM Hi-Res Editor はインストール済ですので、すぐに試聴が可能です。

使用した音源は、前報(3)と(5)と同様でエルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団のロイヤルバレエガラの 11.2MHz DSD 音源とベルリンフィルデジタルコンサートホール (BPODCH) です。

試聴条件は 11.2MHz DSD 音源は TASCAM Hi-Res Editor による ASIO と Bulk Pet4 の条件とし、BPODCH は前報(7)で良かったサウンドの設定を 384KHz 32bit、Bulk Pet4 のモードとします。

3. SWD-DA20 の試聴結果

今回の Windows10 機の使用は、すでに HDD タイプの Windows8.1 機よりと SSD タイプの Windows10 機の音が良いことが分っていますので、Windows10 で Bulk Pet の効果を確認しようとするものです。

11.2MHz DSD 音源の再生は、最初は音が出ませんでした。繰り返していると再生が可能になりました。SSD の静寂感からディテールが再現された、いかにも 11.2MHz DSD らしい奥行きのある音楽が再現されます。

BPODCH の再生も W8.1 機と同じ手順でアイソクロナスから Bulk Pet4 にしますとアイソクロナスに戻ってしまいますが、何回か繰り返すと Bulk Pet4 での再生が可能になりました。再生のパフォーマンスも 11.2MHz DSD 音源の再生と同様でベルリンフィル大ホールの雰囲気そのまま伝わってくるようで、これまでに聴いた BPODCH の最上の再生です。

4. まとめ

Windows10 機においても Bulk Pet 伝送の効果が確認できました。SSD の静寂感の

上にディテールの再現が好ましい再生となりました。

以上